

シラバス

科目名	数学B	履修学年	3 学年 (必修・選択)
教科担任	小柳 雄彦	単位数	2 単位
教科書名	新編 数学B (数研出版 712)	副教材	新課程 3 TRIAL 数学B (数研出版)
教科目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、次の(1)～(3)の数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育てる。</p> <p>(1)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解したり、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(3)数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
科目目標	<p>数列、統計的な推測、数学と社会生活について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する力を培い、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
学習方法	座学。chrombook を使用する。ノートが必要である。		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
① 知識・技能	<p>数列、についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(評価の割合 4割)</p>	<p>a 試験</p> <p>c 課題</p> <p>d 小テスト</p>
②思考・判断・表現	<p>離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(評価の割合 3割)</p>	<p>a 試験</p> <p>b 授業態度</p> <p>c 課題・プリント</p>
③主体的に学習に取り組む態度	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>(評価の割合 3割)</p>	<p>a 試験</p> <p>b 授業態度</p> <p>c 課題・プリント</p> <p>d 小テスト</p>

※評価方法【a 試験 b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他】

特に重視する方法

年間学習計画

単元	第1章 数列 (予定時数 36)
主な学習内容 (活動)	等差数列と等比数列、いろいろな数列
評価の観点と評価方法	①③ ○数列と一般項を理解している。 ○等差数列を理解している。 ○等差数列の和を計算できる。 ○等比数列を理解している。 ○等比数列の和を計算できる。
	②③ ○和の記号 Σ を理解している。 ○階差数列を理解している。

単元	第2章 統計的な推測 (予定時数 12)
主な学習内容 (活動)	確率分布、統計的な推測
評価の観点と評価方法	①③ ○確率変数と確率分布を理解している。 ○確率変数の期待値と分散を理解し、計算できる。 ○正規分布を理解している。
	②③ ○母集団と標本を理解している。 ○母平均の推定を理解している。

単元	第3章 数学と社会生活 (予定時数 12)
主な学習内容 (活動)	数学を活用した問題解決、数学の積極的な活用
評価の観点と評価方法	③数学を活用した問題解決について理解している。 ②③社会の中にある数学について深く探求する。 ③移動平均について理解している。 ③回帰分析を理解し、式を立てることができる。